

< 集団討論課題（大学卒業程度・免許資格職（前期）） >

集団討論については、試験日の午前、午後(いずれか受験)ごとに以下の課題の中から1題を出題しました。

なお、課題については、グループ内で活発に議論を行っていただくため、様々な分野から出題しています。

- 大雨等により自治体が住民に避難を勧告しても、実際に避難されない方が多いことが問題となっています。住民を確実に避難行動に移すためには、どのように災害情報を提供すればよいか、グループ内で討論してください。
- 厚生労働省が発表した令和3年度のデータによると、女性の育児休業取得率は85.1%、男性の育児休業取得率は13.9%と男女の育児休業取得率に大きな差があります。男性の育児休業取得を推進していくためにはどのような取組みが効果的か、グループ内で討論してください。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大等を契機に、働き方や価値観などが変化し、地方移住への関心が高まってきています。今後、本県への移住定住を進めていくためには、どのような取組みが効果的か、グループ内で討論してください。
- 公務員試験の申込者数が減少しつつある昨今、申込者数の増加を図るためにはどのような取組みが必要か、その原因を踏まえ、グループ内で討論してください。
- 「魅力ある働きやすい職場」にするためにはどのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- 高齢化率が50%を超えるなど、少子高齢化や人口減少が進行している、いわゆる「限界集落」において、その地域が抱える課題を挙げ、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- 厚生労働省が発表した令和2年度における新規学卒就職者の就職後3年以内の離職率は、新規大卒就職者31.2%となっています。早期離職の要因は様々ですが、若者の働くことへの意識の変化が考えられます。早期離職を減らすためにどのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。

- 誰も住んでいない状態の家（空き家）が全国的に増加傾向にあります。地域振興の観点から空き家をどのように活用する取組みが有効であるか、グループ内で討論してください。
- 本県では、進学や就職を機に都市部へ転出する若者の県外流出が課題となっています。若者の地元定着を促進するため、県としてどのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- インターネットやSNSを通じて子どもが事件や犯罪に巻き込まれる事案が数多く発生しています。子どもをそのような事件等に巻き込ませないための防止策について、グループ内で討論してください。
- 令和3年度に全国の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は、20万件を超え過去最多となりました。核家族化や共稼ぎ世帯の増加など家族構成が変化する中、子どもたちが安心して暮らせる社会の実現に向けて、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- 子どもたちが多くの本に出会い、感性や想像力を育むことを目的に、令和6年春に「こども図書館」が県立図書館横にオープン予定です。しかし、近年、様々なメディアの普及等により読書をする機会が減っている現状もあります。子どもの読書習慣を定着させるには、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。